



MOTO CORSE
Presents

好きだから、こだのりた

「カウルを脱ぎ捨てたスーパーバイク」が、ストリートファイターの定義ならば「最強パフォーマンスの凄味を知りたい」。そんなライダーの飽くなき欲望をカタチにした一台

PHOTO/K.MASUKAWA TEXT/K.ITOH
取材協力/モーターサイクル TEL046-220-1711 <http://www.motocorse.jp/>



最強パフォーマンスをネイキッドで愉しむ
V4Rから生まれたNuda Veloceへの布石

STREETFIGHTER V4R

ドゥカティのパニガレV4がカウルを脱いだ。ストリートファイターV4。エンジンやシャシーを共有しながら、シリアスでハードなスーパーバイクとは全く異なる「フレンドリー」な乗り味は、ドゥカティのライダー側に立ったモノ作りと技術力の高さを実証する一台だ。……が、パニガレにはSBRレースのホモロゲーションマシンとなるV4Rが存在する。そしてライダーは、どこまでも夢を見る。「もし、最強のV4Rでストリートファイターを作ったら……」。そんな夢を、モトコルセが現実のものとした。エクステリアは基本的にドゥカティの純正パーツを使用するが、じつはボルトオン装着できない箇所も多々あり、カウリングで隠れた配線類もネイキッドの美観を損ねぬように処理する技術はさすがの一言。

ヘッドライトカバーにホワイトのラインを入れつつ下部をレッドにペイント。ラジエターシユラウドなどはブラックアウトすることでV4Rの硬派なイメージを際立たせる。

そして前後サスペンションのスプリング変更とリセッティングによって、ストリートファイターの存在理由ともいえる「フレンドリーな乗りやすさ」を高次元で実現した。

しかし、この完成度にして発展途上。モトコルセが提唱するNVC（2014年に発表）した1199/1299パニガレのネイキッドモデルのコンセプトに基づき、このマシンはさらなる進化を遂げようとしている。また、モトコルセはこの



車両のように、すでにパニガレV4シリーズを所有しているオーナーがカスタムとしてストリートファイター化するためのコンバージョンキットも開発している。作業費を含めると総額85万円近いプライスになるが、スーパーバイクのパニガレをネイキッドのストリートファイターとして再度楽し

める、こんな贅沢な遊びは格別ではないだろうか。

もしかしたら逆に、ストリートファイターV4をパニガレ化するのも可能なかもしれない……。

ストリートファイター V4Rコンプリート
545万円（パニガレV4R車両本体を含む）

撮影車両オプション内容

- フロントフォーク スプリング変更リセッティング
 - リアショック スプリング変更リセッティング+油圧プリロードアジャスター
 - BST製カーボンホイール Rapid TEK
 - STM製ドリブンスプロケット+STM製クイックチェンジスプロケットキャリア
 - MOTO CORSE 製ユニバーサルマウントシステム
 - MOTO CORSE 製チタニウムラジエター&オイルクーラープロテクションスクリーン
 - MOTO CORSE 製パテントDBTフロント&リアアクスルスライダー
 - MOTO CORSE 製パテントDBTチタニウムハンドルバーエンドウエイト
- 実測重量：194kg（同条件でパニガレV4R：202kg、ストリートファイター V4S：208kg）